

# 麻しん(はしか)患者の発生について 注意を呼びかけています

- 4月27日、新潟市保健所へ麻しん患者の届出がありました。
- 麻しんとは?
  - 感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が2～4日続き、その後39℃以上の高熱とともに発疹が出現します。
  - 患者の鼻水や咳などに含まれる麻しんウイルスが口や鼻から入ったり、ウイルスが付いた手で目や鼻や口を触ったり、空気中を漂ったウイルスを吸い込み感染します。
  - 予防接種を受けていないなど、免疫のない人が感染しやすいです。

## 麻しんにかかってしまったら?

- 麻しん患者と直接接していたならば、**受診の前に必ず電話で連絡**してください。
- 安静と水分補給が基本です。
- 人に移す可能性のある時期は、症状の出る2日前から症状が出て5日後の1週間です。
- 人へ移さないように外出は控えましょう。

